



富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市

田子幼だより No.2

令和4年7月4日
富士市立田子浦幼稚園長
0545-61-2154

園目標 あかるく やさしく たくましく
～自ら考え「やってみよう!」とする子を育てていきます～



田子浦幼稚園の特色である、「紙のまちにある幼稚園」の遊びが展開されていますので紹介します。

年少組

新聞紙遊び

年少は、全身を使って、紙と遊んでいます。



体が隠れちゃうくらい
大きなクラフト紙で遊び
ました。



年中組

色画用紙を細長く連続切をしていくとパスタになりました。ハサミが上手になってきています。黒の紙で作るとイカ墨パスタになりました。



遊んだ後の紙は、分別して捨てています。



重ね切しうろこを作りました。きれいなうろこが付いた魚が出来上がりました。



水族館にしたいと、段ボールを組み立てて、魚をのそく穴を作っています。



年長組

富士市のトイレトーパーをたくさん使って積み上げました。



色々な芯が、遊び道具になりました。どうしたらバランスよく積み重なるか、皆で考えました。



遊び終わった紙が新しい紙になるかな～

紙すき遊びが始まりました。



紙管にくぎを刺し、周りを一度使用した紙で巻いて、ピタゴラビー玉転がしをしました。管を通るビー玉の様子やくぎにぶつかる音を楽しんで遊びました。

富士市主催のこどもアートプロジェクトの取り組みで、地元柳島日東の漆畑勇司先生を講師に紙管遊びを楽しみました。



くぎが刺さっている紙管と刺さっていない紙管を比べました。



紙管の出口に鉄琴を置くと音が響きました。



20m位につなげた紙管に、大量のビー玉を流す挑戦をしました。



カラー写真のお便りは、7月下旬にホームページに載せる予定です。在園児は、KidsDiaryをご覧ください。